

平成 26 年度第 2 回常陸太田市子ども・子育て会議

議事要旨

開催日時 平成 26 年 11 月 12 日（水） 17 時 00 分～19 時 55 分

開催場所 常陸太田市役所 大会議室

出席委員 11 名（欠席委員 1 名）

会議経過

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

(1) 常陸太田市子ども・子育て支援事業計画（原案）について （17 時 05 分）

事務局から資料 2「常陸太田市子ども・子育て支援事業計画（概要版）」、資料 3「常陸太田市子ども・子育て支援事業計画（本編）」第 1 章から 4 章の基本目標 1 まで説明

（委員意見）

37～38 ページの「幼稚園，認定こども園（1 号認定）」の施設数が，平成 28 年度に 8 から 9 施設に増加している。一方で「保育所，認定こども園など（2 号認定）（3 号認定）」が，平成 27 から 31 年度まで 9 施設になっている理由は。

（事務局）

平成 27 年 2 月に開設する私立さくら保育園は，当初，保育園として開設するが，平成 28 年度に認定こども園に移行し幼稚園部分も開設する。そのため，「幼稚園，認定こども園（1 号認定）」については，平成 28 年度に 1 施設増えることになる。一方，「保育所，認定こども園など（2 号認定）（3 号認定）」は，施設数に変更がないということになる。

（委員意見）

「保育所，認定こども園など（2 号認定）（3 号認定）」は，施設数に変更がないとのことだが，保育施設の統廃合の予定はあるのか。木崎保育園の保護者の中には，統廃合を心配する声がある。もし，そうした統廃合の予定があるのなら施設数に反映すべきではないか。

（事務局）

公立保育園の中には，施設が老朽化しているところがあり，今後，建て替えの問題がでてくる。建て替えの際には，現在地での建て替えが基本になるが，施設によっては，現在地での建て替えが困難な箇所もある。以上のことから，現段階において，統廃合を正式に決定しておらず，現状の施設数を基本としたものである。

（委員意見）

私立太田さくら保育園の開設経緯や運営者，定員を教えてください。

(事務局)

太田さくら保育園については、社会福祉法人聖愛会が運営する。老人福祉施設や他市で保育園を運営している。平成27年2月から開設し、定員は90名。平成28年度には、認定こども園に移行し、保育園部分の定員をさらに30名増やし、新たに幼稚園部分の定員を70名にする予定と聞いている。

(委員意見)

幼稚園の在籍児童数については、定員を大きく下回っているとの説明だが、そういった状況で認定こども園に移行し、幼稚園部分が認可されるのか。

(事務局)

子ども・子育て新制度における国の方針により、認定こども園は、在籍児童数が定員を下回っている地域でも認可される予定である。認定こども園の普及促進が新制度の趣旨の一つとなっている。

(委員意見)

48 ページで、「病後児保育事業」が新たに開設されるとの説明だが、その経緯は。

(事務局)

公立愛保育園の病後児保育については、指定管理者制度を導入する際に、公募した事業者によるプロポーザルを行い、その際に事業の提案があったものである。私立さくら保育園については、保育所開設にあたり、自主的に申し出があり事業を実施することになった。

(委員意見)

病後児保育については、1園あたり1日3名の受入れで、1年間の受入れ人数は確保されているが、感染症が流行する時期などは利用者が増えることが予想される。そうした時に受入れ人数を増やすことは可能なのか。また、申込方法は。

(事務局)

病後児保育は、看護師や保育士の配置、他の園児から隔離した専用部屋の確保や部屋の面積要件があるため、急遽、その日だけ受入れ人数を増やすことは難しい。また、申込については、病気の回復期の受入れとなるため、医師の診断書等の提出や事前の申し込みが必要となる。

(委員長意見)

申込方法については、柔軟な対応をお願いしたい。

(委員意見)

もし、木崎保育園が閉園となった場合、児童は他の保育園に移ることになるのか。

(事務局)

在園児への配慮は必要と思われるが、閉園が決定していない現段階でははっきりしたことは申し上げられない。

(委員長意見)

46 ページの「一時預かり事業」について、保育園の一時預かりはリフレッシュ目的の利用が可能か。

(事務局)

現在もリフレッシュ目的の利用は可能である。

(委員長意見)

幼稚園の預かり保育についても、リフレッシュ目的の利用など柔軟な対応をお願いしたい。また、50ページの「ファミリー・サポート・センター事業」では、車で児童を送迎できないことが利用者が増加しない一つの要因になっていると思う。

(事務局)

車による送迎については、事故が起きた際の対応などの解決すべき課題があり検討中である。

事務局から資料3「常陸太田市子ども・子育て支援事業計画（本編）」第4章の基本目標2から5章まで説明

(委員意見)

61ページの「経済的負担の軽減」の中で、「保育所及び幼稚園の保育料の軽減」や「新婚家庭家賃助成事業」、「住宅取得促進助成事業」の成果は。人口減少対策として、第1子から保育料を無料にするなど大胆な事業も必要ではないか。

(事務局)

全国的な人口減少傾向の中で、市内の人口増加を図るとするのは難しい状況にある。減少を緩やかにする対策となるが、近年減少が緩やかになってきている。また、保育料無料化などの経済的支援は、現在かなりの金額がかかっている状況であり、無料化の対象を広げることは、厳しい財政状況下において検討が必要である。

(委員意見)

「新婚家庭家賃助成事業」の件だが、民間アパートの新しい物件はすぐに入居者が決まるが、古い物件には空きがあると聞いている。また、助成期間が終了した後に、他市町村に流出しないような対策も必要ではないか。

(事務局)

個人所有の古い物件は、多額の費用がかかり、なかなか改修が進められない状況と聞いている。また、助成期間終了後の追跡調査では、多くの世帯が本市にとどまっている。なお、若い人の転入は少しずつ増えてきており、転入した後で、子どもの教育について特色を出しながら流出を食い止める対策も必要と認識している。

(委員長意見)

助成事業を利用した人の定住状況の把握やフォローアップをお願いしたい。

(委員意見)

多子世帯への出産祝い金など、少子化対策に貢献している方への恩恵が必要では。

(事務局)

担当課において、若い職員や女性職員を集めて対策を話し合う場を設けているが、そうしたことが話

題になっている。すぐに実施できるとまでは言えないが、検討を重ねていくことになると思う。

(委員意見)

58 ページの「思春期対策事業」は、市内の小中学校において実施していると思うが、学校によって実施のばらつきがあると聞いている。他市では、「いのちの大切さ」についての学習などを、全校を対象としているところもあるので検討をお願いしたい。また、78 ページの「通学路や公園等における防犯灯の整備」についてだが、防犯灯が少ない地域もあるので、子どもの登下校の安全対策として整備をお願いしたい。

(事務局)

担当課に要望として連絡する。

(委員意見)

73 ページの「民生委員児童委員等の相談活動の充実」についてだが、主任児童委員と市との連携の強化をお願いしたい。主任児童委員の勉強会など集まる機会があるので、市と情報交換ができると活動しやすくなると思う。

(事務局)

子ども福祉課の家庭相談員も含めて連携していきたい。情報交換の場は有意義であると認識している。

事務局から資料4「今後のスケジュール（案）」を説明

意見なし

(2) その他 (19時50分)

4. 閉会 (19時55分)

平成26年度子ども・子育て会議委員・次世代育成支援地域行動計画推進委員会委員
名簿

(H25.8.1～H27.7.31 ※新規者はH26.6.1～H27.7.31)

	選出区分	氏名	役職名等	備考
1	医療関係者	尾内 映子	一般社団法人常陸太田医師会 (ひたちの中央クリニック院長)	
2	保健関係者	大森 宮子	茨城県常陸大宮保健所健康指導課長	新規
3	福祉関係者	黒澤 貴子	常陸太田市民生委員児童委員協議会主任児童委員	
4	企業関係者	木村 広美	(株)カワネヤ管理部総務人事課	
5	教育関係者	井上 定男	常陸太田市幼稚園長会長(金郷幼稚園長)	新規
6	保育関係者	増子 春江	(福)西山保育園施設長	
7	学識経験者	中島美那子	茨城キリスト教大学文学部児童教育学科准教授	
8	子育て支援	秋山 智代	子育て調査隊ひこうき雲代表	
9	ボランティア関係者	小泉 正人	子育て上手常陸太田推進隊	
10	市民(保護者代表)	後藤 勇人	常陸太田市PTA連絡協議会会長(太田小)	新規
11		石井 敬子	常陸太田市幼稚園PTA連絡協議会会長(太田徳徳幼)	新規
12		石田 芳加	常陸太田市公立保育園保護者の会会長(木崎保)	新規

【事務局】(常陸太田市保健福祉部子ども福祉課)

子ども福祉課長	塩原 正己	内線 151
子ども福祉課長補佐兼保育係長	荷見 久志	内線 151
子ども福祉課子ども家庭係長	馬場 賢仁	内線 161
子ども福祉課子ども家庭係	嶋志田 智	内線 161